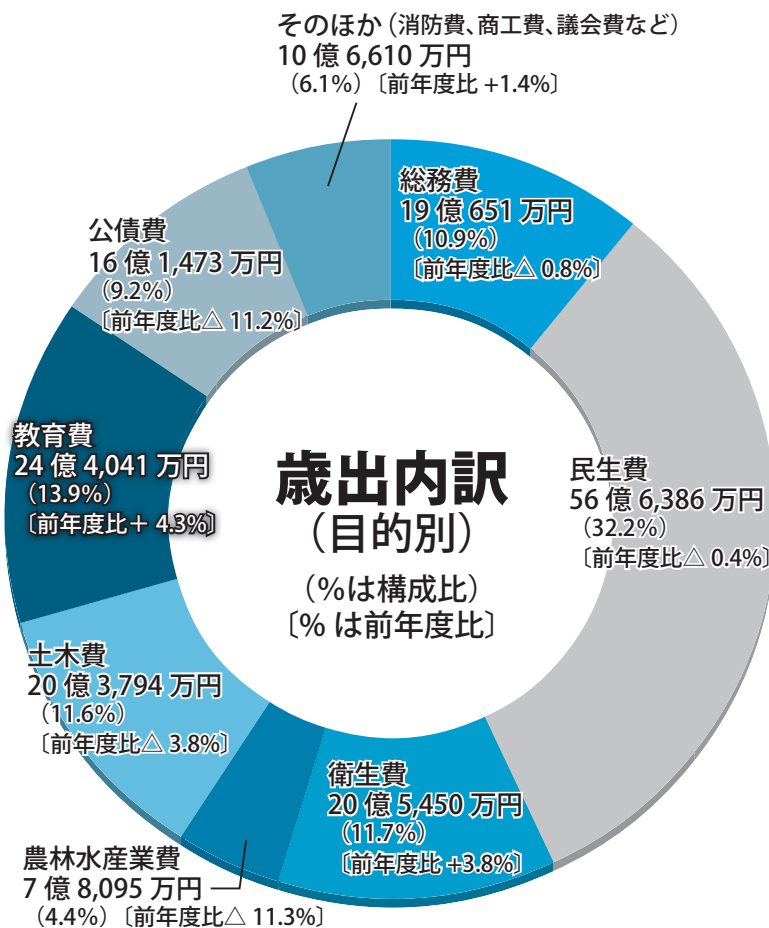


当初予算概要

▽通常予算 約 173 億 3,100 万円
 ▽東日本大震災関連予算 約 2 億 3,400 万円



令和 8 年度一般会計の当初予算は、昨年度と比較すると微減しています。

歳出は、前年度と比較し地方公共団体情報システム標準化への移行経費や相馬こどもドームの改修費用の全額減、小・中学校 GIGA 端末の更新台数の減などに伴い更新費用が減額となる一方で、相馬光陽サッカー場の人工芝張り替えに係る費用、飯豊小学校屋上の防水シート改修費用や大洲松川線自転車道整備に必要な費用などの新たな経費を見込んでいます。

歳入においては、賃金の上昇に伴う給与所得の増加による市民税の増額や、増設資産の増加などに伴う固定資産税の増額を見込む一方で、普通交付税については市税の増加や令和 7 年国勢調査による人口減少に伴う減額も見込んでいます。

総務費

窓口サービスや地域のために

- 総合行政情報システムの管理運用のために 1 億 4,218 万円
- 地方バス路線維持のために 4,858 万円
- おでかけミニバス運行のために 2,748 万円
- 県知事選挙のために 1,933 万円



おでかけミニバス

教育費

学校教育や文化・スポーツ振興のために

- タブレットなどを活用した教育のために 7,027 万円
- 相馬光陽サッカー場の管理や改修のために 3 億 4,118 万円
- 小学校の維持管理や改修のために 8,344 万円
- 学校給食の無償化のために 2 億 1,163 万円



学校給食

民生費

社会福祉のために

- 児童手当・児童扶養手当支給のために 8 億 3,005 万円
- 障がい者支援のために 11 億 3,593 万円
- 介護保険特別会計のために 6 億 2,447 万円
- 後期高齢者特別会計のために 4 億 3,386 万円
- 保育園の支援のために 9 億 2,433 万円



幼稚園児らによる防火パレード

衛生費

感染症予防やごみ処理のために

- 公立相馬総合病院への支援のために 4億8,331万円
- 予防接種助成のために 1億3,883万円
- 妊婦さんと子どもの健康のために 5,849万円
- 地域医療の確保のために 1億2,619万円
- ごみの処分のために 7億5,080万円



公立相馬総合病院

土木費

道路・市営住宅などのために

- 道路の整備のために 3億3,358万円
- 下水道事業のために 7億330万円
- 市営住宅の維持管理のために 9,609万円
- 空き家対策のために 2,214万円

その他

観光振興などのために (商工費、消防費、議会費など)

- 天然トラフグ「福とら」PRのために 1,300万円
- 観光イベントの企画運営のために 292万円
- 道の駅の管理運営のために 1,713万円
- 相馬消防署のLED化のために 1,979万円
- 議会運営のために 1億3,591万円

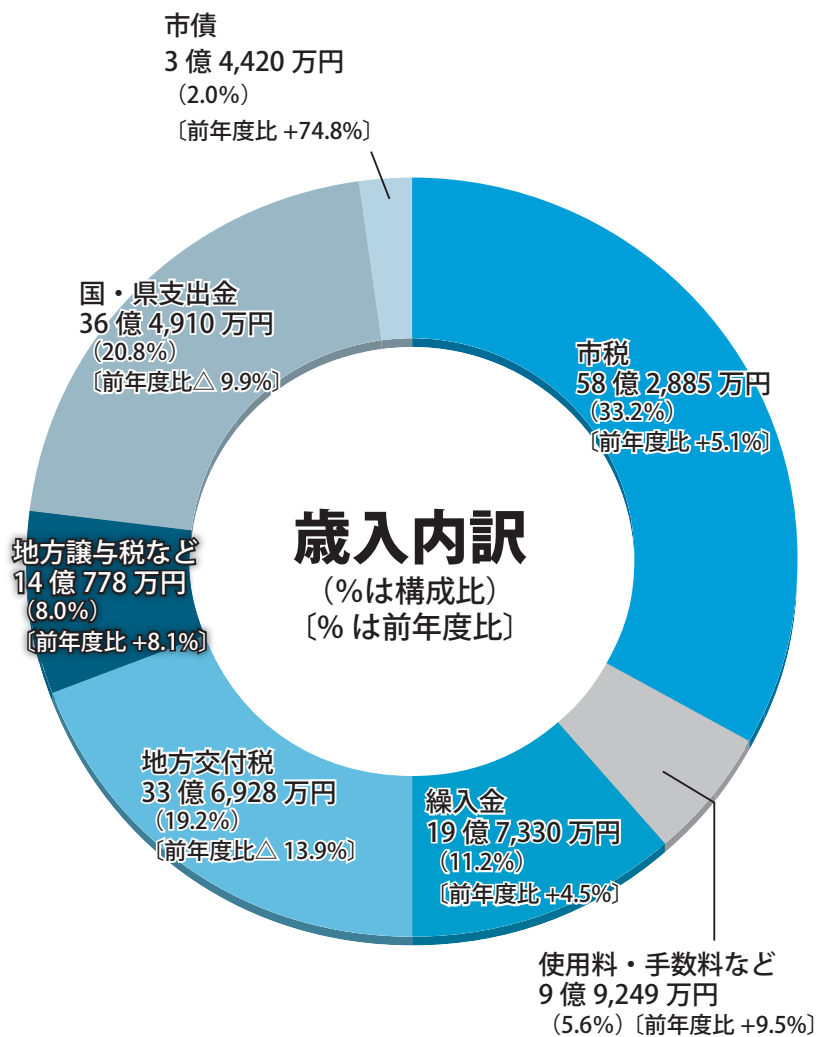


天然トラフグ「福とら」水揚げ

※特集は、次のページに続きます。

令和8年度

一般会計予算
175億6,500万円
〔前年度比△1.3%〕



農林水産業費

農林水産業の振興のために

- 農業者の支援のために 1億3,699万円
- 排水機場の維持管理のために 7,353万円
- イノシシ・サル・クマなどの対策のために 1,966万円

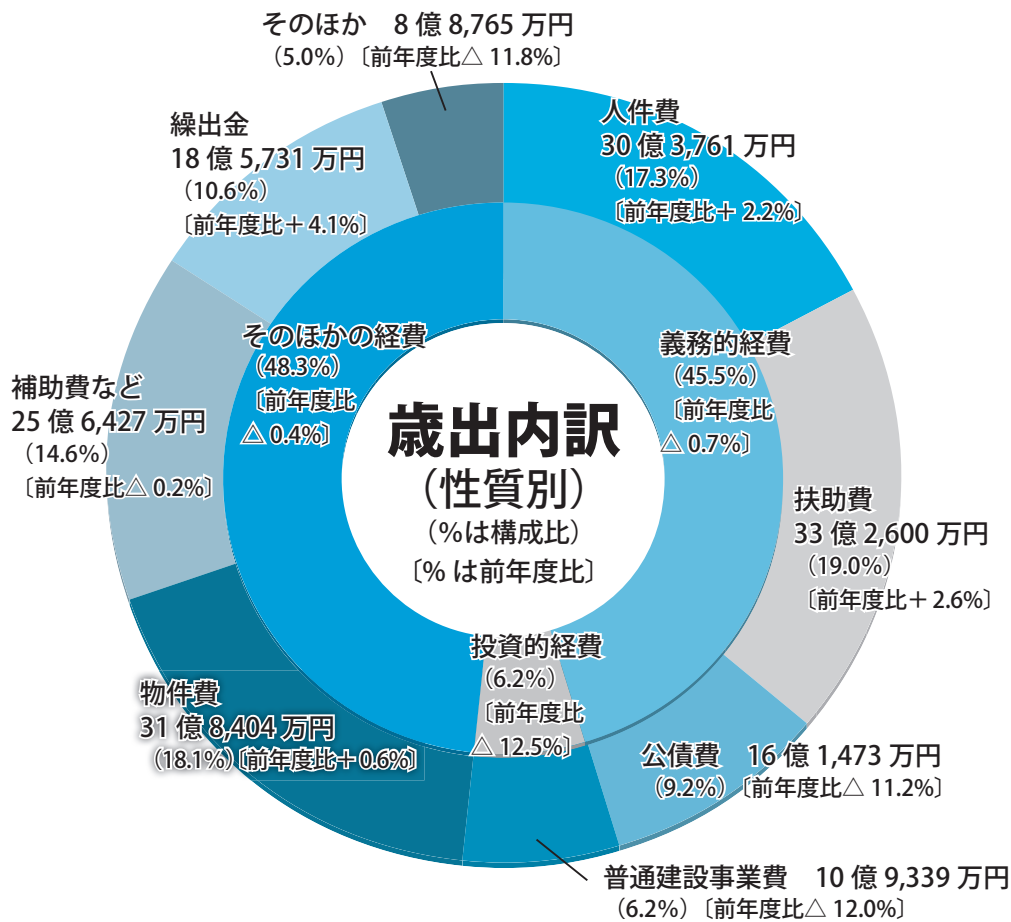


住宅地などに侵入しようとしているサル

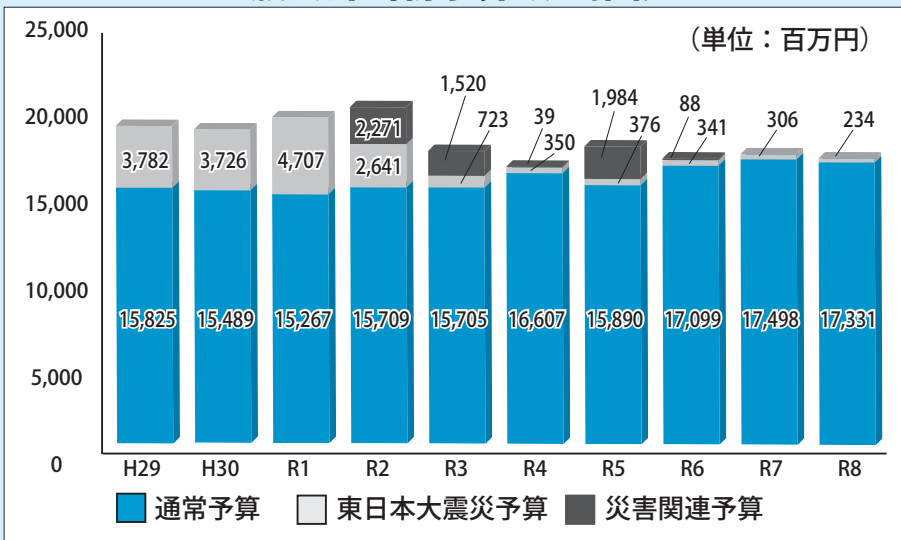
一般会計 歳出予算

性質別内訳については、令和元年台風の影響対策債の償還が終了したことなどにより、公債費が前年度比△11.2%と大幅な減額になっています。

また、物価の高騰などにより、各委託料や消耗品費、使用料といった物件費が前年度比+0.6%の増額となっています。



一般会計当初予算額の推移



令和8年度は、人件費の上昇や、資材・燃料などの物価高騰による各事業単価の増傾向はあるものの、令和元年以降の災害復旧の終了や、それに関わる借入金の償還終了などにより、予算総額は175億6,500万円、通常予算が約173億3,100万円、前年度より減額となっています。

また、東日本大震災に関連する予算は、約2億3,400万円となっており、予算全体に占める割合は、約1.3%です。



特別会計予算

特別会計は、特定の事業を行うために、一般会計とは財布を分けて管理しています。

企業会計予算

公共下水道事業および農業集落排水事業は、令和2年度より企業会計に移行しました。これにより、経営基盤の強化や財政マネジメントの向上などを図っていきます。

| 特別会計名 | 予算額 | 前年度比 |
|----------|-------------|--------|
| 国民健康保険 | 32億 2,000万円 | △12.4% |
| 後期高齢者医療 | 6億 1,800万円 | 18.6% |
| 介護保険 | 41億 1,112万円 | 4.5% |
| 光陽地区造成事業 | 13億 4,777万円 | △9.3% |
| 合計 | 92億 9,689万円 | △3.3% |

| 企業会計 | | 予算額 | 前年度比 |
|-------|-------|-------------|-------|
| 下水道事業 | 収益的支出 | 12億 4,970万円 | 3.5% |
| | 資本的支出 | 8億 5,777万円 | 25.9% |
| 合計 | | 21億 747万円 | 11.6% |

市の一般会計予算を 月額 40 万円（年間 480 万円）の家計に例えると・・・

市の予算と家庭では使い道が異なるため、単純な比較はできませんが、自分で稼いだ収入が少ないため、親の仕送り（国や県からの補助金）に頼ったり、貯金の取り崩しをしたりして、対応している状況です。

| | 1 カ月間の家計に例えたとき | | 実際の市の予算 | |
|--------------|----------------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------------------|
| | 内容 | 金額（月額） | 令和 8 年度予算額 | 内容 |
| 収入 | 給料 | 24 万 1,524 円 | 106 億 591 万円 | 市税・地方譲与税など・地方交付税 |
| | パート収入 | 2 万 2,602 円 | 9 億 9,249 万円 | そのほかの収入（負担金、使用料、財産収入、寄附金、繰越金など） |
| | 両親からの仕送り | 8 万 3,099 円 | 36 億 4,910 万円 | 国・県からの補助金など |
| | 貯金の取り崩し | 4 万 4,937 円 | 19 億 7,330 万円 | 繰入金（基金積立金の取り崩しなど） |
| | 借金 | 7,838 円 | 3 億 4,420 万円 | 市債 |
| | 収入の合計 | 40 万円 | 175 億 6,500 万円 | |
| 支出 | 借金の返済 | 3 万 6,771 円 | 16 億 1,473 万円 | 公債費（借金返済費用） |
| | 食費 | 6 万 9,174 円 | 30 億 3,761 万円 | 人件費 |
| | 医療費・子どもの学費 | 7 万 5,742 円 | 33 億 2,600 万円 | 扶助費＝法的に義務付けられている医療や福祉に関する費用 |
| | 光熱水費 | 7 万 2,509 円 | 31 億 8,404 万円 | 物件費＝施設やサービスを維持していくために、支払い義務のある経費 |
| | 子どもへの仕送り | 4 万 2,296 円 | 18 億 5,731 万円 | 繰出金＝他団体や特別会計の組織運営にかかる経費 |
| | 子どもの小遣い、隣組の会費、保険料・税金の支払いなど | 5 万 8,395 円 | 25 億 6,427 万円 | 補助費＝補助金や負担金、貸付金 |
| | 家賃、家電の買い替え | 2 万 4,899 円 | 10 億 9,339 万円 | 普通建設事業、災害復旧事業 |
| | 日用品の購入、交通費、交際費など | 1 万 3,009 円 | 5 億 7,126 万円 | 維持補修費、貸付金、投資および出資金 |
| | 貯金 | 7,205 円 | 3 億 1,639 万円 | 積立金 |
| 支出の合計 | 40 万円 | 175 億 6,500 万円 | | |

●問い合わせ先 財政課（☎ 37-2123）